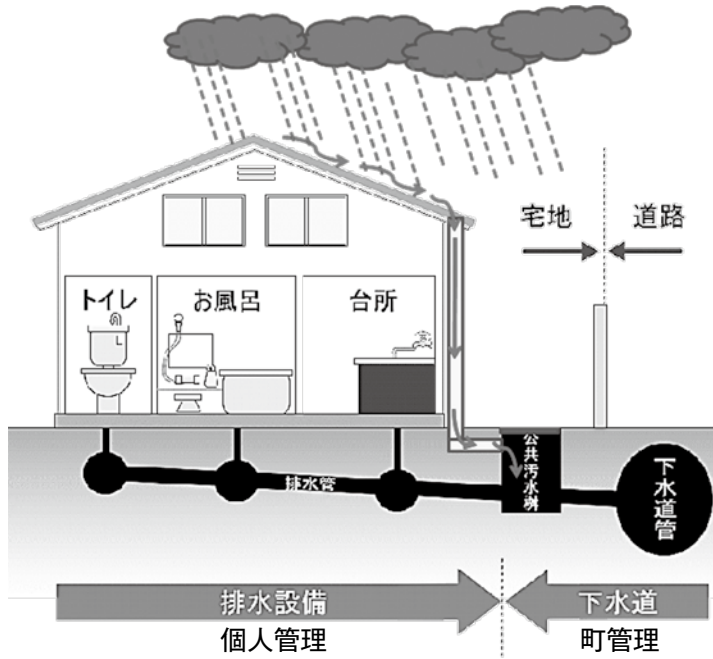


不明水削減のために ご協力をお願いします

不明水とは下水道の桝や管に流れ込む雨水や地下水のことを言います。一般家庭などからの不明水が下水処理施設に多量に流れ込むと適正な処理ができなくなる上、処理費用が増加してしまいます。日野町では下水道管の調査や修繕などを行っています。

不明水の原因は、汚水桝に誤って雨樋の接続をしている場合や、宅内桝や公共汚水桝が破損して雨水が流入している可能性があります。

不明水削減のために、今一度右の点についてご確認をお願いします。



宅内桝の修繕は指定業者に連絡して各自で修繕をお願いします



公共汚水桝が破損している場合は左の番号に連絡してね♪



蒲生氏郷公頭彰会キャラクター
がもにゃん

◆問い合わせ先 上下水道課 下水道担当 ☎0748-1521-6579

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

師走の候、今年も残りひと月となりましたが、皆さまはいかががお過ごしでしょうか。日ごろは町政各般にわたりご理解・ご協力をいただいております。

この一年は、まさに新型コロナウイルスに翻弄された年でした。瞬く間に世界中に広がり、我が国にも上陸、長期間にわたる学校の一斉休校や緊急事態宣言などにより社会経済活動が一時的にストップしました。その後、学校は再開し宣言も解除されたものの、その影響は現在も続いています。

そのような中、今年7月に町長選挙が執行され、第6代日野町長に就任をいたしました。就任後まもなく、当町においても新型コロナウイルス感染者が判明しましたが、幸いにして感染拡大にはいたっておりません。町民の皆さまの感染対策へのご協力に感謝を申し上げます。

その一方で、町にとって良いニュースもありました。日本テレビ系列の「日本列島ダーツの旅」のほか、数多くのテレビ番組や新聞などで日野町の話題が大きく取り上げられました。また、この11月からふるさと納税制度を活用した日野町の特産品PRも始まっています。日野菜、近江牛、近江米、丁稚ようかんなど代表的な特産品が全国の方々の目に触れる機会が増えてきています。

年号が変わる時は、変化が起こると言われます。新型コロナウイルスのみならず、我が国でも首相が交代し、世界でも米国大統領が交代するなどしています。そういった意味からも今年はまだに変化の年であったといえます。

7月に町長に就任をさせていただいてから、早いもので6か月目になりました。時代が移るいゆく中でも、先人の皆さんが残してくださった日野町の誇りが、しっかりと次時代に受け継がれるよう努力をしていきたいと思っております。

温故知新

日野歴史探訪

私達の住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化でいろどられています。
温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

大字河原

大字河原は、日野町の中央部に位置し、地名は集落中央部を西流する出雲川の河川敷に立地すること由来すると言われています。

古代から中世初期のころは、日野谷一帯に広がっていた日野牧の一部でした。「牧」とは、飼育や繁殖の目的のために牛や馬を放牧していた区域のことで、当時は草原であったことがわかります。

江戸時代初頭の領主は幕府で、その後松山藩を経て淀藩・館林藩・甲府藩・鳥羽藩・浜松藩などめまぐるしく変遷し、幕末は川越藩となって明治維新を迎えました。

集落北部には黄檗宗寺院の浄光寺が位置し、集落南西部には氏神の天満宮神社が、河原橋の北詰には檜之神社(元野神)がそれぞれ鎮座しています。

浄光寺に伝わる八相涅槃図

寺伝によれば、浄光寺は行基の開基で、蒲生氏や小倉氏の信仰をあつめた古刹でした。蒲生氏転封ののち一時寺勢が衰退しますが、江戸時代前期の延宝年間に正明寺三世の晦翁が招かれて入寺し、中興開山となりました。正明寺は近江黄檗宗の中心的寺院で、後水尾法皇や歴代林丘寺宮(一世は後水尾皇女)とのゆかりも深かったことから、浄光寺にも後水尾法皇像や黄檗宗高僧の頂相など貴重な文化財が伝わっています。

このほか、同寺に伝わる注目すべき文化財として、高田敬輔の手になる「紙本著色八相涅槃図」が挙げられます。

日野大窪出身の高田敬輔(一六七四〜一七五五)は、京狩野派の総帥・狩野永敬に画技を学んだ江戸時代を代表する絵師で、信楽院(村井)

の雲龍図が代表作として知られています。

浄光寺に伝わる本作は、署名と押印の特徴から、敬輔が六二歳から六九歳の法橋位にあつた時期に描かれたことが知られ、法橋期を代表する秀作として平成二十一年十一月五日に県の指定文化財となりました。

八相涅槃図とは、釈迦入滅の涅槃を中心に据え、その左右に釈迦の生涯で七つの重要な出来事を描いた図のことをいいます。

むかつて右上から生天下天・託胎(摩耶夫人の胎内に入る)・出胎(誕生)が描かれ、左の下から



浄光寺八相涅槃図

出家・降魔・成道・転法輪、そして中央の涅槃の八図が描かれた、縦二七二・三×横三五〇・〇の大作です。

涅槃図には、釈迦の死を悲しんで寄り集まった人々や動物たちが鮮やかに描き込まれ、背景の跋提河(古代インドに流れる川で、釈迦がこの川の西岸で涅槃した)を中心とする山水表現も見事です。中でも興味深いのは、図左端下方の水辺に鯉・鯰・沢蟹・鮎などの淡水の生き物が描かれていることです。涅槃図に魚類が描かれることは少なく、敬輔の獨創性が存分に発揮されています。